平成30年度 大石田町

重要事業

このたび、来年度国や県に事業の採択や継続を要望する「平成30年度大石田町重要事業」がまとまりました。まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みに対する支援や今宿・新町地区流雪溝面的整備事業の早期着手など13の事業について、町と議会が一体となって国や県に要望を行います。

安全・安心に暮らせる町に向けて

国・県に強く要望します

まちづくりに関する要望

◎まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みに対する支援について

⇒　大石田町では、平成27年10月に「大石田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけるべく事業に取り組んでおります。しかし、平成28年度の「地方創生推進交付金」は、事業費の２分の１が交付対象であり、支援内容も後退したものとなっています。

町では財政の健全化に努めていますが、今後本格的に様々な事業を展開するには厳しい財政状況にあります。地方創生に向けて各自治体の実情に応じた柔軟かつ多様な支援、継続的な支援を要望します。

銀座カフェーパウリスタの協力を得て開発中のそば「来迎寺在来」とブラジルコーヒーのブレンドコーヒー

整備を進めている「大石田駅前賑わい拠点施設」

建設・都市計画関係の要望

◎今宿・新町地区流雪溝面的整備事業の早期着手について
◎小菅地区流雪溝面的整備事業の早期着手について
◎鷹巣地区流雪溝面的整備事業の早期完成について

今宿・新町地区

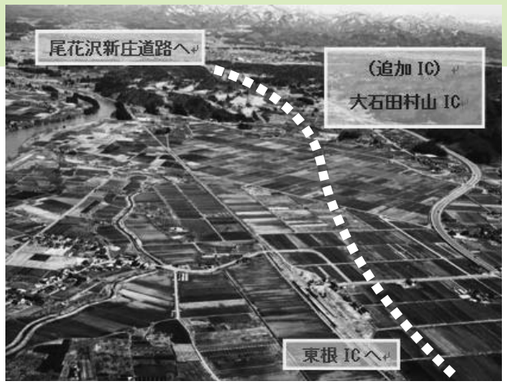
鷹巣地区

⇒　町の表玄関口にあたる今宿・新町地区は流雪溝が未整備のため除排雪に苦慮しており、また、捨て場のない雪が道路や歩道に大量に堆積するため、道路交通を阻害する大きな要因となっています。平成29年度には、東北中央自動車道の尾花沢インターチェンジから大石田村山インターチェンジまで開通が予定されており、交通量の増加が想定され、冬期間の円滑な交通の確保は、さらに重要性が高まります。取水量確保の支援及び流雪溝面的整備の早期着手について強く要望します。

小菅地区は、用水の確保が困難なため流雪溝が未整備であり、地区民は除排雪に苦慮しています。県道及び町道流雪溝整備に必要な取水量確保の支援及び流雪溝面的整備の早期着手について強く要望します。

鷹巣地区の流雪溝面的整備がまだ未完成であるため、地区民は利用することができず、除排雪に大変苦慮しています。鷹巣地区流雪溝面的整備事業の早期完成について強く要望します。

◎東北中央自動車道（東根～尾花沢間）の早期完成について



⇒　山形県内陸部を縦貫する東北中央自動車道は、山形空港や一般国道と接続し、広域的な交流・物流を促進するもので、地域の産業・経済・文化の発展に必要不可欠な道路です。また救急医療機関等を直結するために不可欠な要素であり、地域の生活安定と振興にとって欠かせないものです。

尾花沢インターチェンジ～大石田村山インターチェンジ間が平成29年度に開通の見込みですが、大石田町の玄関口である一般県道大石田土生田線と連結する大石田村山インターチェンジの完全早期完成と、東根インターチェンジまでの本線の早期完成について要望します。

◎ミッシングリンク（未整備区間）解消に向けた主要地方道大石田畑線の整備について

⇒　主要地方道大石田畑線は国道347号に連結し、東北中央自動車道や国道13号及び一般県道尾花沢大石田線にアクセスする重要な路線です。平成12年度には、国道347号からＪＲ東町跨線橋を通り都市計画道路大石田駅本町線までの区間で整備完了していますが、要望区間が未整備のためネットワークを形成していない状況にあります。本区間は高速交通ネットワークへのアクセス向上と地域の産業、経済、文化の発展及び観光の推進に不可欠な道路ですので、早期整備着手について要望します。